

研究彙報 (昭和56年1月〜同12月)

●特別展覧会 (○印は共催)

○ギリシャ美術の源流展・グーランドリス・コレクション

会期 一月四日(日)〜二月八日(日)

会場 京都国立博物館・本館

主催 京都国立博物館・朝日新聞社

アテネのグーランドリス夫人収集の初期キュクラデス美術の石偶をはじめ大理石の器、青銅器、陶器、黄金装身具などによる構成。

○細川家コレクション 東洋美術展

会期 三月三十一日(火)〜五月五日(火・祝)

会場 京都国立博物館・本館

主催 京都国立博物館・永青文庫・毎日新聞社

肥後藩主、細川家が収集した膨大な文化財のうち一五二件の展示。

○明恵上人没後七五〇年 高山寺展

会期 五月十九日(火)〜六月二十一日(日)

会場 京都国立博物館・本館

主催 京都国立博物館・朝日新聞社

高山寺中興・明恵上人没後七五〇年を記念した展覧会。鳥獣人物戯画・華嚴縁起などの名宝をはじめとして、明恵と密教・明恵と華嚴・明恵の信仰と生活などの各部門にゆかりの品を展示。

禅の美術

会期 十月六日(火)〜十一月八日(日)

会場 京都国立博物館・本館

主催 京都国立博物館

達磨像の系譜、伝法のあかし、悟りの表現、禅寺の制規、禅僧の文雅、法語と遺偈、道釈の世界、禅と茶、方丈の美の各主題で、禅宗美術の精華一七七件を展示。

●特別陳列 (▽印は毎年の恒例的な陳列)

▽十二天画像と山水屏風 一月四日(日)〜二月八日(日)

新館11号室 担当・中野玄三

▽手鑑 一月四日(日)〜三月八日(日)

新館13号室 担当・木下政雄

▽高台寺蒔絵と南蛮漆器 一月四日(日)〜二月八日(日)

新館15・17号室 担当・灰野昭郎

▽人形 二月十九日(木)〜三月二十九日(日)

新館14・17号室 担当・切畑 健

例年の出陳作品に加えて、江戸時代のからくり人形を展示。

呉須赤絵 一月十四日(火)〜三月八日(日)

新館3・4号室 担当・河原正彦

京都国立博物館蔵 坂本龍馬の関連遺品 四月七日(火)〜五月五日(火・祝)

京洛仏像の新資料(Ⅱ) 四月十四日(火)〜六月十四日(日)

新館6号室 担当・伊東史朗

当館が行っている京都社寺文化財調査によって新たにその価値が認められた作例の公開。主として洛南地方の仏像。

▽新収品 五月二十七日(水)〜六月二十八日(日)

新館13・17号室

昭和五十五年度中に購入・寄贈および文化庁から管理換された作品、計一三〇件。

探幽縮図 七月二日(木)〜七月二十六日(日)

新館8・17号室 担当・中野玄三

館蔵品図録『探幽縮図』下が出版され、その完結を記念する展示。

京都の社寺文書 七月二十九日(水)〜八月三十日(日)

新館13号室 担当・下坂 守

万福寺の近世絵画 九月三十日(水)〜十月二十五日(日)

新館10・11号室 担当・狩野博幸

万福寺と深い関係のある狩野探幽・池大雅の作品を中心に、陳賢筆観音帖などの展

示。

中国の羅漢・十王図 九月三十日(水)〜十月二十五日(日)

示。

中国の羅漢・十王図 九月三十日(水)〜十月二十五日(日)

新館12号室 担当・西上 実

伝奇然請来十六羅漢圖(清凉寺藏)をはじめ、宋から元に至る中国仏教絵画の一端と日本への影響をうかがう。

▽瓦経 十月六日(火)～十一月八日(日)

新館15号室 担当・難波田 徹

瓦経の規格性と書風に焦点をあて、成立から終焉にいたる諸相をうかがう展示。

後藤一乗の刀装具 十月六日(火)～十一月八日(日)

新館16号室 担当・稲田和彦

後藤一乗のほほ生涯にわたる作品(鐔・小柄・笄など)を展示。

▽高台寺時絵と南蛮漆器 十月六日(火)～十一月八日(日)

新館17号室 担当・灰野昭郎

特に昨年館蔵品に加わった、南蛮漆器(花鳥時絵角徳利六本)の優品を展示。

▽鉄斎 十二月十五日(火)～昭和五十七年一月十七日(日)

新館9号室 担当・金沢 弘

● 出版刊行

『探幽縮図 下』 京都国立博物館 昭和五十六年三月 担当・中野玄三・杉村邦彦

昨年に引きつづき、京都国立博物館蔵の探幽縮図の図録で、図版及び釈文・概説・解説・総目録・年表・人名索引を収録。B4版、収録図版四八四図、頒価一万九千円。

『画像不動明王』 京都国立博物館 昭和五十六年三月 担当・中野玄三

昭和五十四年十月の特別陳列「不動明王画像の名品」に出陳の作品を中心に、不動明王画像の優品を収録し、併せて論考を収める。B4、図版二二七図、頒価一万四千七百円。

『京都国立博物館 学叢』 第3号 京都国立博物館 昭和五十六年三月

京都国立博物館職員による研究紀要。A B、論文三篇、作品研究四篇、資料紹介一篇、研究随想、研究彙報、昭和五十五年館員執筆物一覽、京都社寺調査報告など収録。図版原色五図、単色一〇図、頒価三千円。

『京都社寺(文化財)調査報告書Ⅱ』 京都国立博物館 昭和五十六年三月

昭和五十五年度に実施した京都社寺所蔵文化財の調査報告。地域社寺(伏見地区七ヶ寺)特定社寺および遺跡調査(興聖寺・安祥寺上寺跡)報告。A4総頁六七頁、単色図版六一図。

『研究発表 不動明王の諸相・最澄と空海の書風について』 仏教美術研究上野記と座談会

念財団助成研究会報告書第八冊 昭和五十六年三月

昭和五十四年十一月十二日におこなわれた、研究シンポジウムの要約。A4、本文三九頁、単色図版八図および「不動明王の諸相」資料を収録。

『禪の美術』 特別展覧会目録 京都国立博物館 昭和五十六年十月

昭和五十六年十月六日から十一月八日までを会期とする特別展覧会「禪の美術」の概説および解説付総目録。B5、総頁数一八九頁、収録図版原色八図、単色一六八図、頒価千円。

『瓦経』 特別陳列目録 京都国立博物館 昭和五十六年十月 担当 難波田 徹

昭和五十六年十月六日から十一月八日までを会期とする特別陳列「瓦経」の解説付目録。B5、総頁数二四頁、収録図版原色二図、単色三八図、頒価三〇〇円。

● シンポジウム

研究発表と座談会「禪と美術」

主催 仏教美術研究上野記念財団助成研究会(代表者 林屋辰三郎)

期日 十月二十七日(火)

会場 京都国立博物館

参加者 約五十名

研究発表

“伝法衣” 切畑 健

“禪と絵画” 金沢 弘

“禪と墨跡” 今枝愛真

座談会(司会 井上 正)

● 国内における調査研究

東洋美術における鳥獣表現の成立とその展開についての調査研究

一月～十二月 代表 林屋辰三郎

九世紀を中心とする雑密系尊像の調査

一月～二月 担当 井上 正・伊東史朗

日本における陶質土器の初現とその系譜についての調査

九月～十二月 担当 八賀 晋

九州・山陰地方の遺跡および各地資料館での調査

中国明末清初の画壇の動向についての調査

一月～十二月 担当 西上 実

京都府下社寺調査 四月～十二月 担当 伊東史朗・下坂守

伏見区の社寺および檀王法林寺・壬生寺の調査

●海外における調査研究および出張

切畑 健 昭和五十五年十二月三十日～同五十六年一月十四日 (行先 フ

ランス)

「北斎とその時代展」の陳列指導及び東洋染織品の調査研究

金沢 弘 三月二十三日～四月二十二日 (行先 ドイツ連邦共和国)

日本中世絵画の調査研究

八賀 晋 四月八日～同二十日 (行先 大韓民国)

韓国における陶質土器の調査研究

河原正彦 七月十四日～同二十四日 (行先 中華人民共和国)

中国陶磁の調査研究

狩野博幸 七月三十一日～八月三十日 (行先 フランス、ドイツ連邦共和

国、アメリカ)

近世花鳥画の調査研究

灰野昭郎 九月二十七日～十二月三十一日 (行先 イギリス)

「江戸大美術展」の出品文化財随伴、及び陳列指導

河原正彦 十二月二日～昭和五十七年三月四日 (行先 イギリス)

「江戸大美術展」の出品文化財随伴、及び陳列指導